

# ノーリフティンングケア事業 報告

医療法人 厚仁会

老人保健施設 養老の里

# 施設概要

老人保健施設 養老の里

所在地：愛媛県今治市波方町樋口甲1686-1

開設：平成8年9月

定員：2Fフロア23床  
3Fフロア27床

平均年齢：98歳

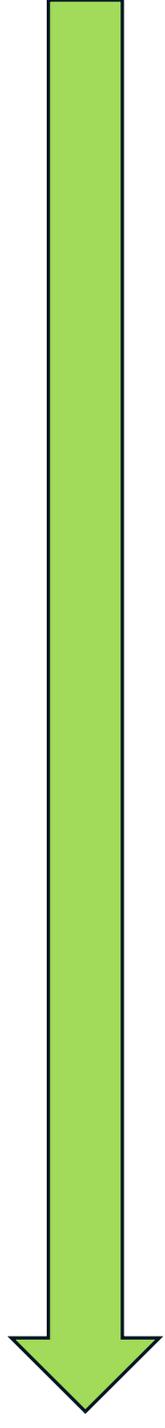
平均介護度：3.1

職員人数：50名

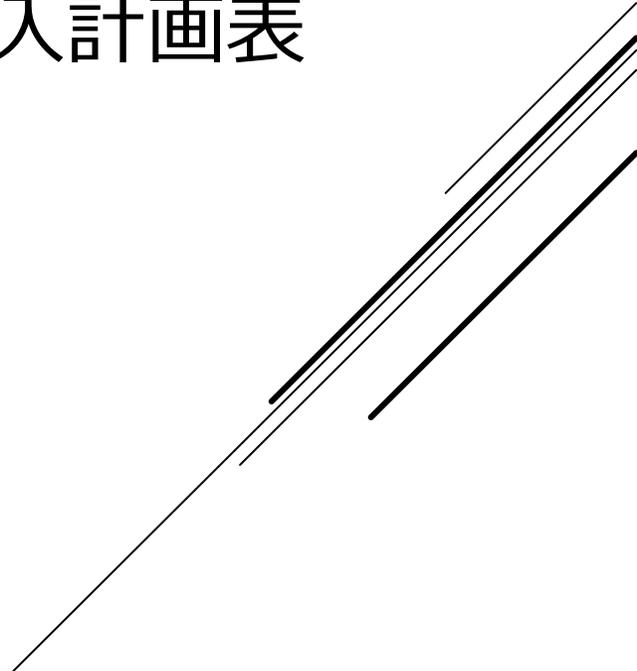


## 本事業への参加経緯について

- 入所者様の高齢化とともに、家族様も高齢となり、在宅復帰が難しく施設生活が長期化する入所者様が多くなった。
- ↓
- 結果、各入所者様の介助量が増加し、かつ、重度化がみられる。
- ↓
- 職員の心身の負担、福祉用具そのものの物品不足と  
知識・必要性の認識不足
- ↓
- 入所者様・職員の双方にとって、少しでも負担が  
少なく笑顔でケアが行える現場にしたい



## 取り組み

- (1) ノーリフティングケア委員会の立ち上げ
  - (2) 導入前アンケート・要介護者別リスク見積り表  
優先度等チェックリスト・福祉用具機器導入計画表  
ノーリフティング実施計画書作成
  - (3) アドバイス研修
  - (4) 個別研修①②③
  - (5) 福祉用具のお試し
- 

# 実施計画書

- 課題 1 現在保持している福祉用具の確認と  
適正な活用ができていない
- 課題 2 介護技術の知識が古く  
最新の技術がわからない
- 課題 3 ポジショニング・シーティング・  
ノーリフティングが連動していない
- 課題 4 始業前の体操など、業務に入る前の  
準備をする機会がない

## 現在の福祉用具の状況



※ 圧倒的に普通型車椅子の方が多い

### 【車椅子】

チルトリクライニング	7台
普通型	33台
(その内 介助型 18台)	

### 【その他】

スライディングボード	3枚
いざえもんシート	2枚
スライディンググローブ	



スライディングボードがあるが、  
抱え込みによる移乗の方が時間的に『早い』為、  
負担のかかる移乗を行ってしまっている。

## 個別研修①・②

「介護者の安心・安全」

介護者の姿勢・身体の使い方

「利用者の安心・安全」

姿勢の見方



# 個別研修③

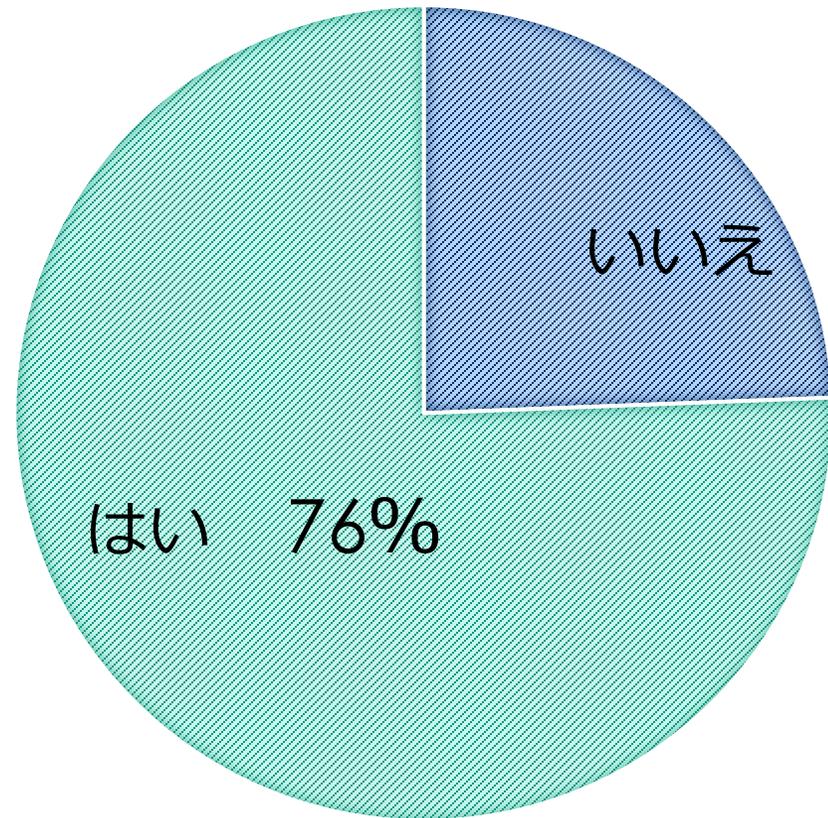
## 「利用者の安心・安全」

## 姿勢の整え方



# 養老の里 腰痛アンケート 1

現在腰痛はあるか？



・介護 33人 ・看護 5人 ・その他 4人

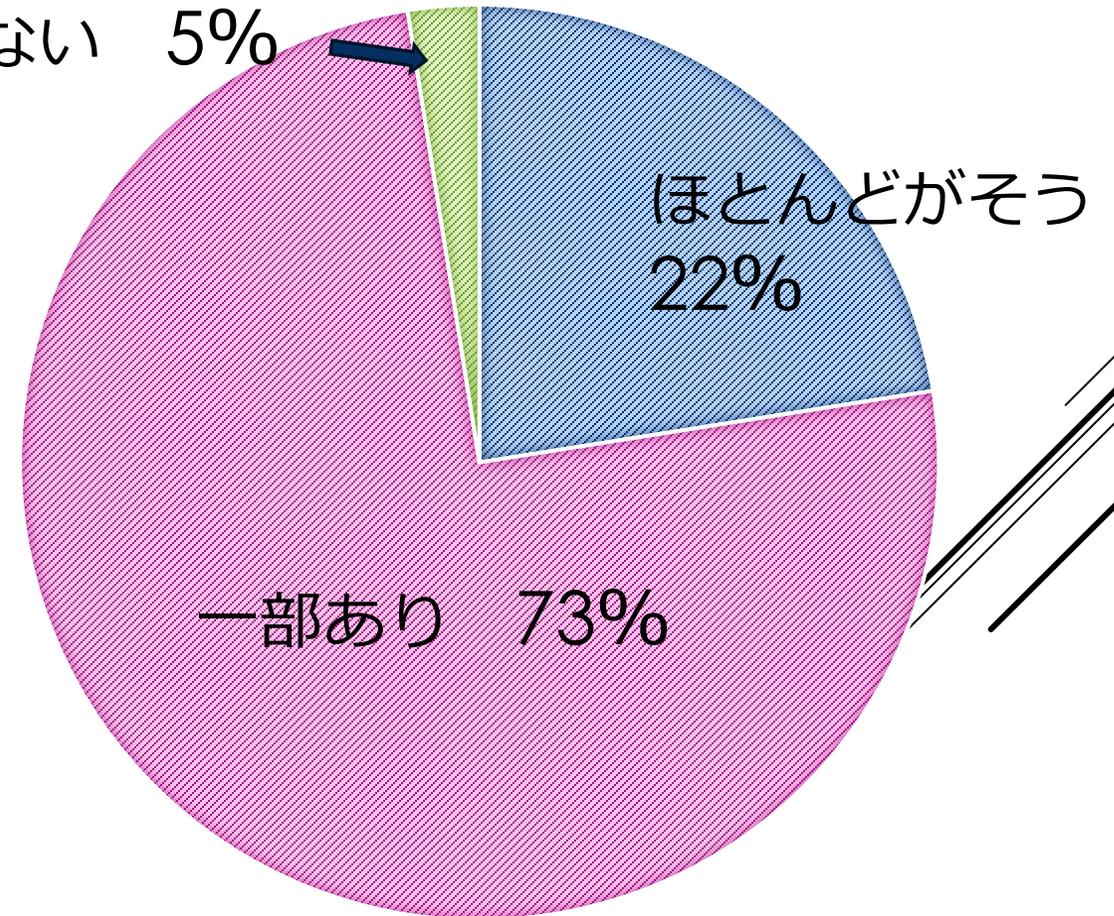
・20代 7人 ・30代 7人  
・40代 14人 ・50代 12人  
・60代 2人

# 養老の里 腰痛アンケート 2

持ち上げや  
引きずり介助はあるか？

- ・ 3か月～1年未満 1人
- ・ 1年～3年未満 6人
- ・ 3年～5年未満 8人
- ・ 8年～10年未満 17人
- ・ 10年以上 10人

ほとんどない 5%



# 福祉用具のお試し

簡易型移乗用リフト「ささえ手」や  
移動式リフトをレンタルし、実際に使用してみる。



## 見えてきた課題

- 福祉用具を必要とする入所者様をリストアップする。



福祉用具のお試しを実施



すべての対象者に同じ福祉用具が適応せず、結果  
現場では抱え込む移乗を実施していた。

- 職員が福祉用具の必要性を感じていない

経験年数の豊富な職員が多く、昔ながらの介助方法を好む  
スタッフがいる。



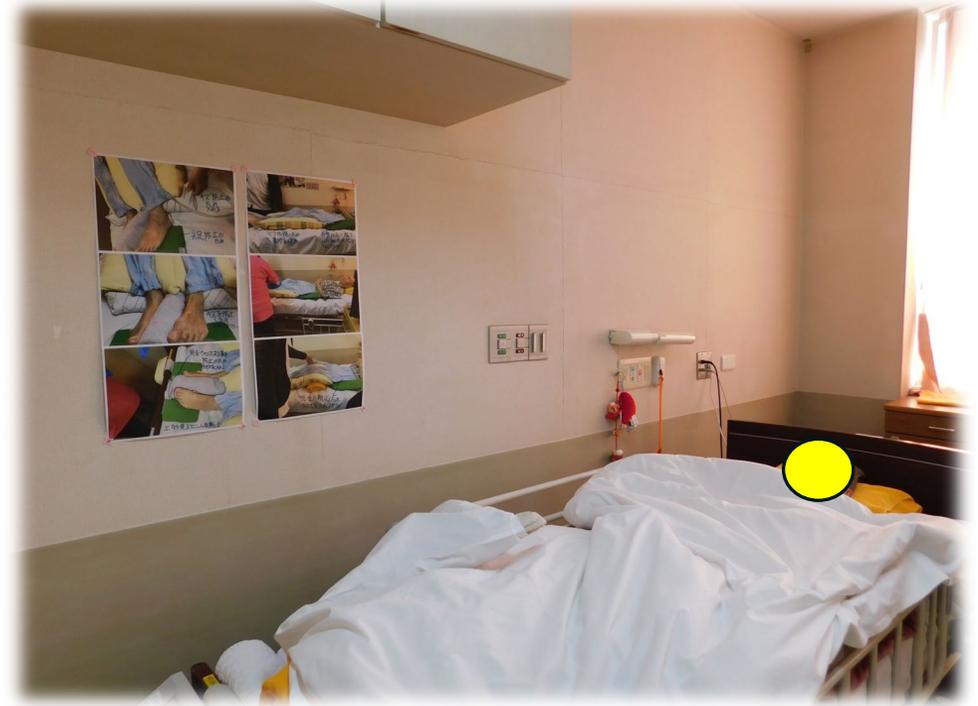
職員の中には腰痛を持病としている者もいるが、  
自身の年齢や職業病と認識しており、福祉用具を  
使用する事によって、入所者様・自分自身の双方の  
安心・安全につながる...との理解が  
まだ得られていない。

- ポジショニングに対する苦手意識がある。

## 今後の目標

「福祉用具が身近にないことから、必要性を感じない」という点があげられていた。





- ➡ ポジショニングについては居室に誰でもわかるように、写真で設置して周知する
- ➡ 施設勉強会の開催や、施設外講習会への参加推進
- ➡ 介護現場だけでなく、多職種で一緒に取り組んでいく

最後に・・・目に見える成果を知ることによって、  
改めて必要性を実感することができた。

簡易型移乗用リフト「ささえ手」のレンタル開始  
いざえもんシートの購入  
介助型車椅子・ポジショニングクッションの購入

※ノーリフティング委員会の内容充実を図る



特定の職員だけが参加するのではなく  
職場全体で取り組める環境づくりを図っていく。

ご清聴ありがとうございました。



老人保健施設 養老の里